

平成30年度 事務事業マネジメントシート

事業名	防災及び救急救助事業			会計	款	項	目	大	小
				01	09	01	01	09	01
政策	02	2節	生活の豊かさを実感できる流山（生活環境の整備）	主管課	消防防災課				
施策	2-3	自然災害・都市災害への備えと予防		主管課長	笠原 圭史				

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	救護活動を必要とする市民	意図	認定救急救命士の育成と資質の向上及び搬送業務の迅速化による救命率の向上を図る。
事業内容	救急救命士の病院再実習による知識と技術の向上及び気管挿管実習による認定救急救命士の育成が救急救命処置の拡大と救急搬送業務の充実を図るもの。			
事業開始から現在までの状況変化	救急救命士の病院再実習による知識と技術の向上及び気管挿管実習による認定救急救命士の育成が救急救命処置の拡大と救急搬送業務の充実を図るもの。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成28年度	平成29年度	平成30年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）	
	①	心肺停止患者の社会復帰人数	3	5	9	人	↑↑↑	社会復帰人数
②								
③								
④								
⑤								
⑥								
指標で表すことができない定性的な成果							目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況） 病院再実習を中心に救急救命士の教育の充実と救急業務活動の資質向上が図られ、救護を求める市民の期待に応えることができている。	
事務事業のコスト		平成28年度	平成29年度	平成30年度				
事務事業の総コスト(a=b+c)		11,360,275	15,418,323	13,138,891				
事業費(b)(円)		7,927,775	10,719,923	8,346,991				
うち一般財源		7,927,775	10,719,923	8,346,991				
職員給与費(c)(円)		3,432,500	4,698,400	4,791,900				
人役・職員(人)		0.50	0.70	0.70				
人役・再任用(人)								
人役・臨職(人)				0.10				
人役・嘱託(人)								
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）								
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）								

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性が高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	I 拡 充 （事業を拡大して継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①H30当初の改善計画(Plan)	救急件数の増加に伴い、軽症者数の安易な救急要請事案対策に取り組む。救急協力者のフォロー。	③取組における課題(Check)	救命率の向上を図るべく、バイスタンダー（救急現場に居合わせた人）の有効活用及び病院収容までの時間短縮。
②H30に実施した取組(Do)	広報及び掲示物等により救急車の適正利用を呼び掛ける。救急協力者感謝カードの発行。	④課題に対する今後(H31～)の改善計画(Action)	市民への普通救命講習会受講の呼び掛け及び受講者の増加を図るとともに、119番受報内容の早期把握及び迅速な出動指令に努める。転院搬送の研究。